

研究機関：広島大学

研究課題名	口唇裂・口蓋裂患者におけるエナメル質形成不全症発症の疫学的統計
研究責任者名	医系科学研究科 歯科矯正学 教授 谷本幸太郎
研究期間	令和3年 12月(承認後)～令和12年12月
対象者	昭和58年4月～令和12年11月までに広島大学病院矯正歯科を受診した年齢6～50歳の唇顎口蓋裂患者を対象とします。
意義・目的	矯正歯科治療患者における本研究は、口唇・口蓋裂を有する患者におけるエナメル質形成不全症発症頻度、う蝕有病率および歯数の不足について疫学的調査を行い、その実態を把握することで、将来の矯正歯科治療に役立てることを目的としています。
方法	X線デンタル写真、オルソパントモX線写真、口腔内写真、模型、カリエスリスク検査結果、細菌カウンタおよびカリエススクリーンの記録を用います。また、採取した唾液やプラークより細菌のDNAを精製し、お口の中の細菌の種類を調査します。(個人を特定可能な情報は解析に使いません)
共同研究機関	広島大学内のみの研究になります。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 歯科矯正学 教授 谷本 幸太郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5686 広島大学大学院医系科学研究科 歯科矯正学 准教授 国松 亮